

## 敬老乗車証市民意識アンケートの結果（確報）について

### 1 概要

敬老乗車証制度については、対象となる本市の70歳以上の高齢者人口が引き続き増加する見通しであり、それに伴い事業費の増加も見込まれることから、将来にわたり制度の持続性を確保していくため、今後に向けた制度のあり方について検討を行う必要がある。

あり方の検討を進めるにあたっては、現在の利用者のほか、今後利用の対象となる若年層に対し、制度に対する市民意識アンケートを実施した。

※令和5年2月1日に行われた分科会において速報を報告しておりましたが、改めて内容を精査した結果、当時ご報告した内容で確定いたしましたので確報としてご報告いたします。

### 2 調査方法及び回答の状況

	高齢層向けアンケート	若年層向けアンケート
対象	市内在住の60歳以上の方	市内在住の20歳から59歳までの方
回答形式	調査票を郵送し、郵送で回収	調査依頼を郵送し、原則Web上で回答
調査期間	令和4年7月3日～7月31日	令和4年10月3日～10月23日
発送数	4,100人	2,500人
回答数	2,830人（回答率69.0%）	695人（回答率27.8%）

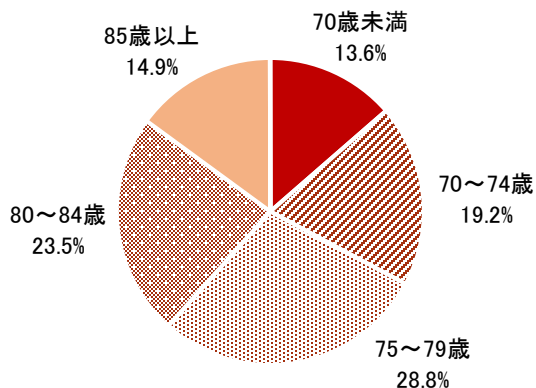
### 3 市民意識アンケート結果の概要

#### (1) 回答者の属性

n=回答者数

#### 高齢層の結果

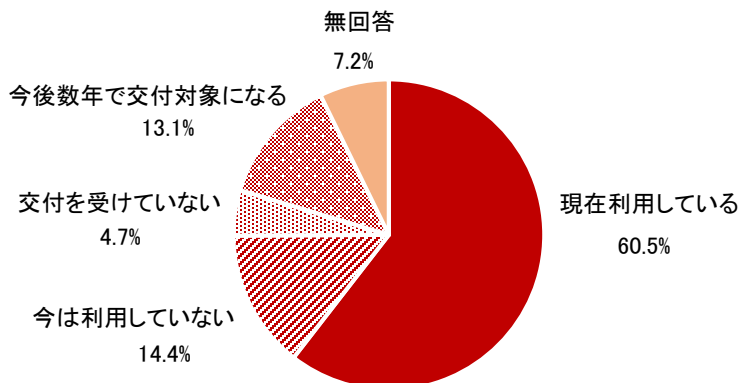
(1)-1 回答者の年齢層 n=2,830



(発送者リストより集計)

●回答者に占める年代別の割合は、75歳～79歳が最も高く、次いで80～84歳となっている。

(1)-2 敬老乗車証の利用・交付状況 n=2,830

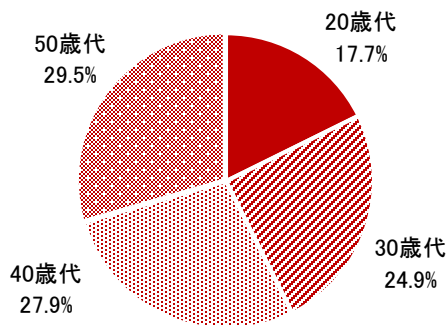


(市民意識アンケート(高齢層)問8)

●約6割の方が現在利用していると回答している。

#### 若年層の結果

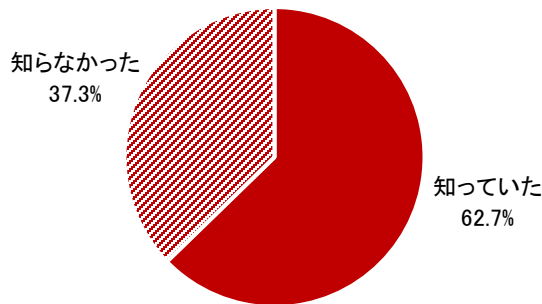
(1)-3 回答者の年齢層 n=695



(市民意識アンケート(若年層)問2)

●回答者に占める年代別の割合は、年代が上がるほど高くなっている。

(1)-4 敬老乗車証制度の認知度 n=695



(市民意識アンケート(若年層)問5)

●6割以上の方が制度を知っていたと回答している。

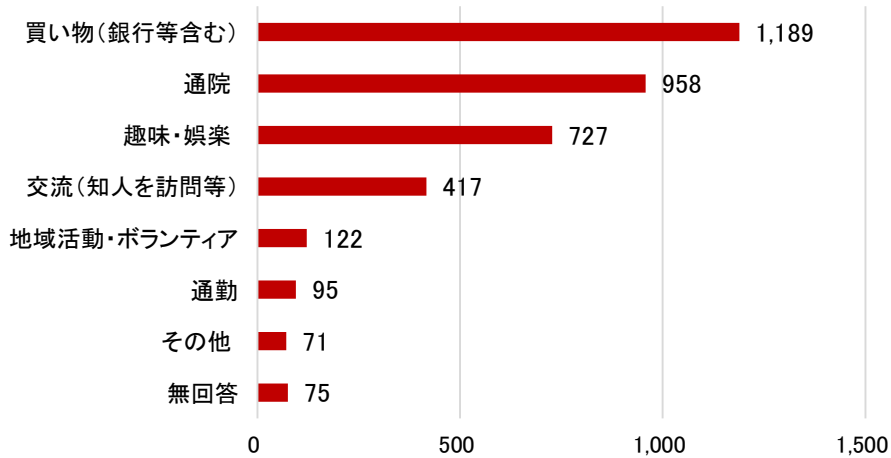
- 表やグラフのnとは回答者数の合計を表すものであり、質問によって異なる場合がある。
- 回答比率は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。単一選択式の質問では、回答比率を合計しても100%にならない場合があり、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数選択式の質問においては、各設問の回答者数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100%を上回る場合がある。
- また、複数選択式の質問については、回答数の合計がn(回答者数の合計)を上回る場合がある。

## (2) 制度の利用目的や効果

n=回答者数

### 高齢層の結果 ※乗車証利用者

#### (2)－1 敬老乗車証の利用目的 ※3つまで選択可能 n=1,712

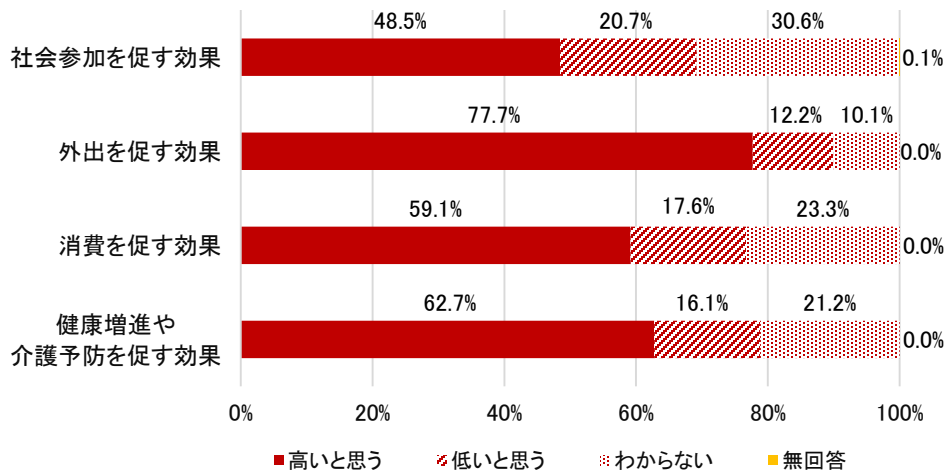


(市民意識アンケート(高齢層)問9)

●回答者の約7割が買い物(銀行等含む)、約6割が通院と回答している。

### 若年層の結果

#### (2)－2 敬老乗車証制度の効果 n=695



(市民意識アンケート(若年層)問9)

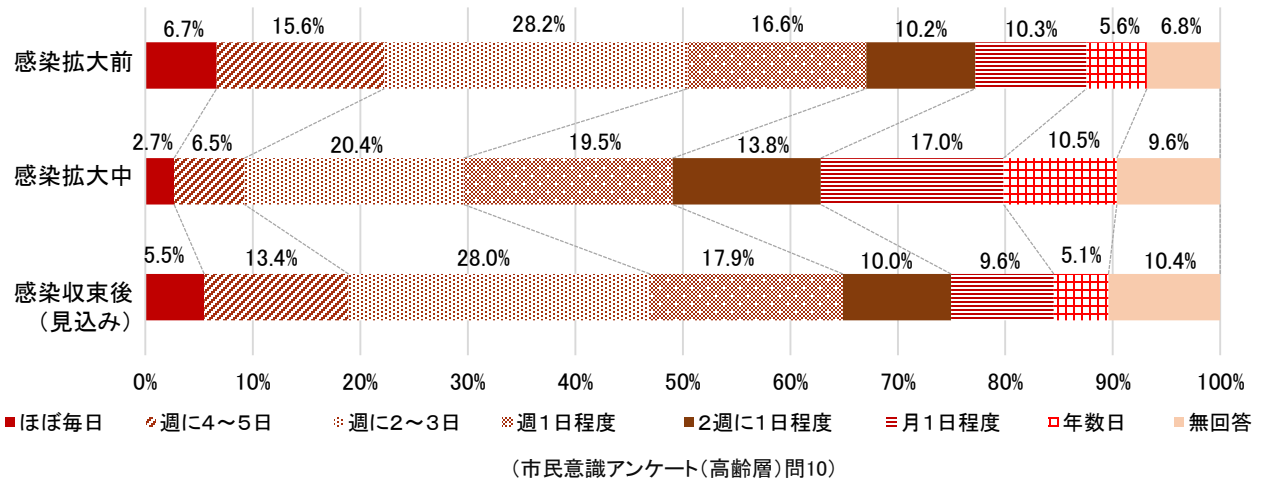
●いずれの項目も、効果が高いと思うと回答した方の割合が高い。  
●効果が高いと思うと回答した方の割合は、外出を促す効果が最も高い。

### (3) 新型コロナウイルス感染症拡大による影響

n=回答者数

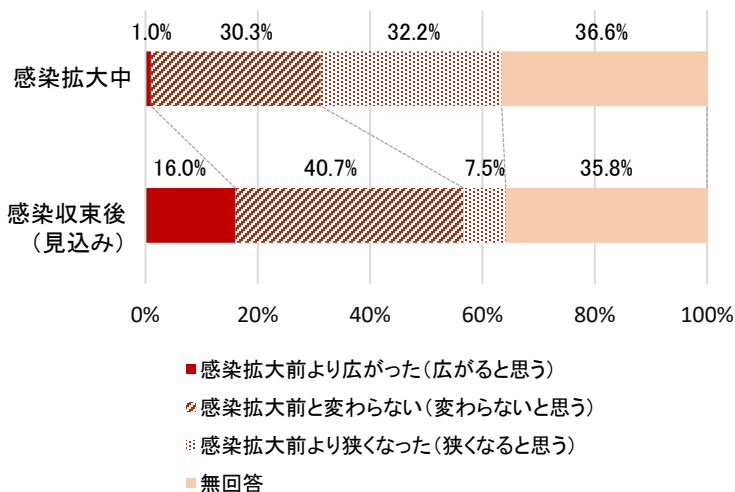
## 高齢層の結果 ※乗車証利用者

(3) - 1 乗車証の利用頻度の変化 n=1,712



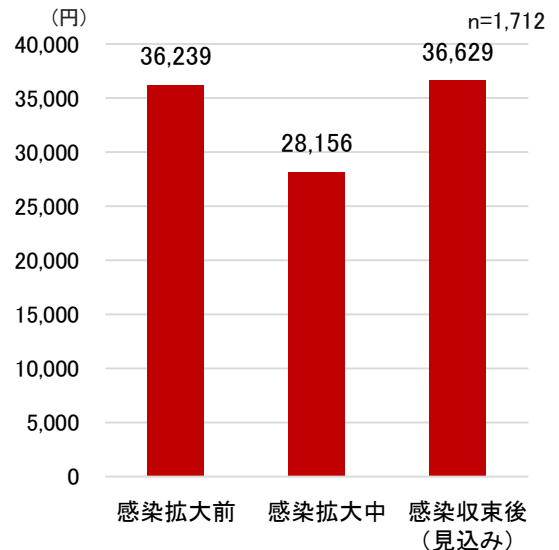
- 感染拡大前は、約7割の方が週1日以上利用していたが、感染拡大の影響により、約5割まで減少している。
- 感染収束後(見込み)については、感染拡大前と同様の利用頻度の回答になっている。

(3) - 2 乗車証を使った移動範囲の変化 n=1,712



- 感染拡大中は、「変わらない」と「狭くなった」で約6割となっている。
- 感染収束後(見込み)は、「広がる」と「変わらない」で約6割となっている。

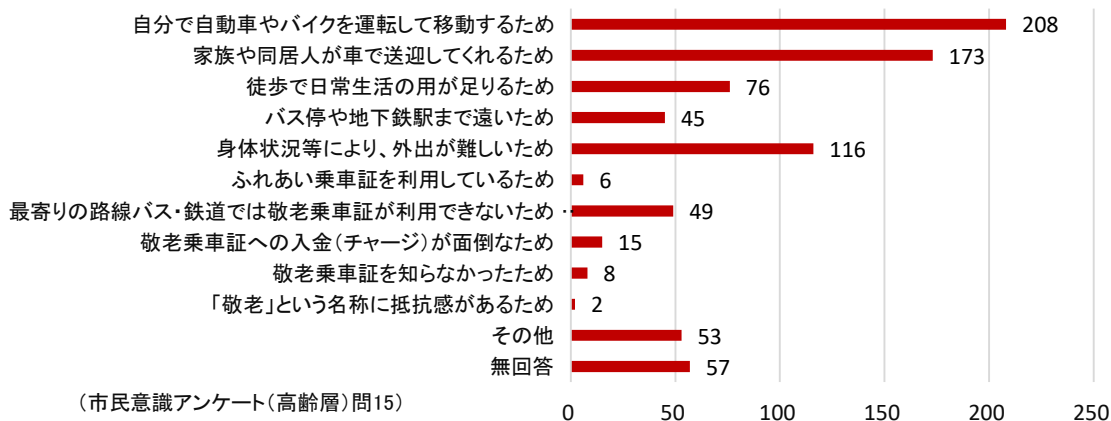
(3) - 3 乗車証の年間平均利用額の変化



- 感染拡大により、平均利用額は約2割減少している。
- 感染収束後(見込み)は、感染拡大前と同水準に戻る。

### 高齢層の結果 ※乗車証未利用者

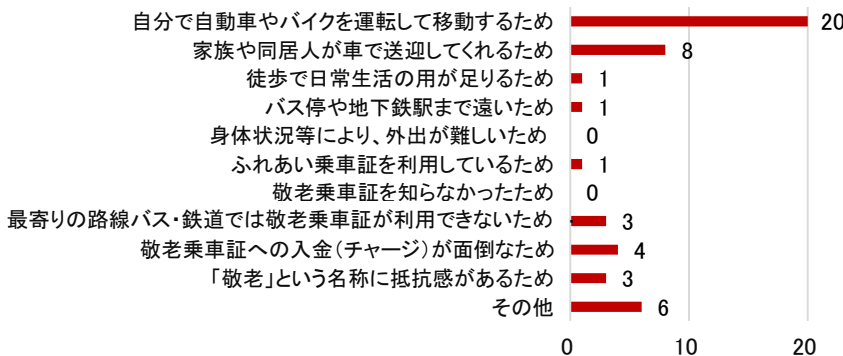
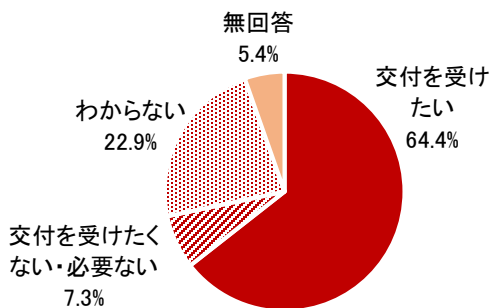
#### (4)－1 制度対象者が制度を利用しない理由 ※複数選択可能 n=542



●制度を利用しない理由については、自身や家族が自家用車等を活用できることを挙げた方が多い。

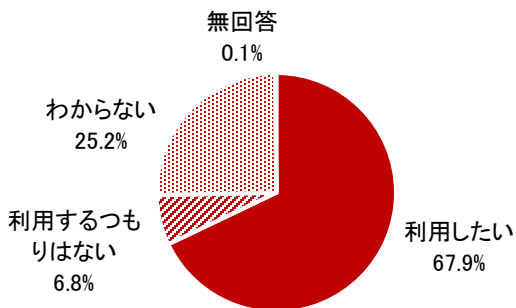
#### (4)－2 60歳～69歳の交付の見通し (4)－3 60歳～69歳で将来交付を希望しない理由 ※複数選択可能 n=27

n=371

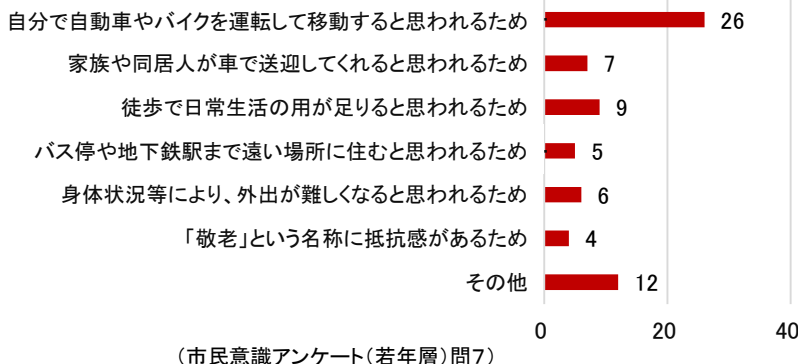


### 若年層の結果

#### (4)－4 将来の利用の見通し n=695



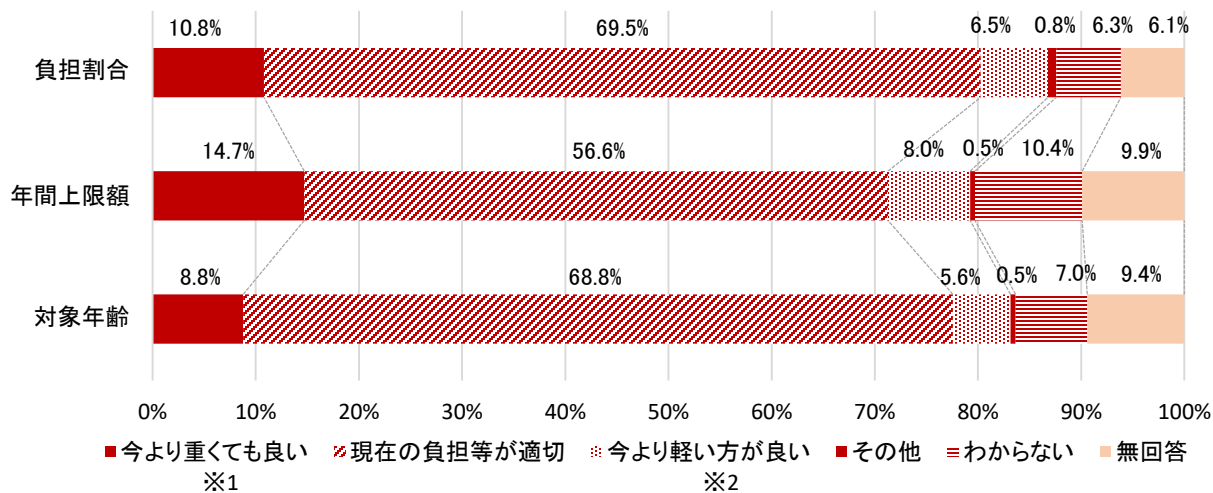
#### (4)－5 将来利用するつもりはない理由 ※複数選択可能 n=47



●将来の制度対象者については、約6～7割の方が敬老乗車証の交付・利用を希望している((4)-2、(4)-4)。  
●将来制度を交付・利用しない理由については、自身や家族が自家用車等を活用できることを挙げた方が多い((4)-3、(4)-5)。

### 高齢層の結果

(5) - 1 適切だと思う利用者負担 n=2,830

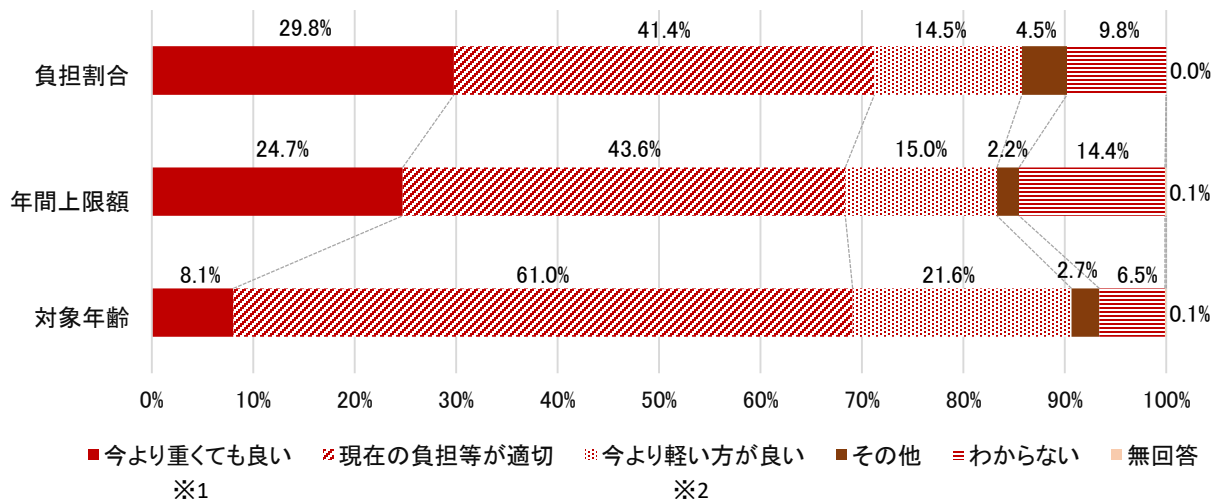


(市民意識アンケート(高齢層)問18)

●負担割合(現行:チャージ額の1割)、年間上限額(現行:年間12万円)、対象年齢(現行:70歳以上)のいずれの項目についても、現在の負担等が適切と回答した方の割合が最も高い。

### 若年層の結果

(5) - 2 適切だと思う利用者負担 n=695



(市民意識アンケート(若年層)問8)

●いずれの項目についても、現在の負担等が適切と回答した方の割合が最も高いが、負担割合、年間上限額では高齢層よりもその割合が低い。

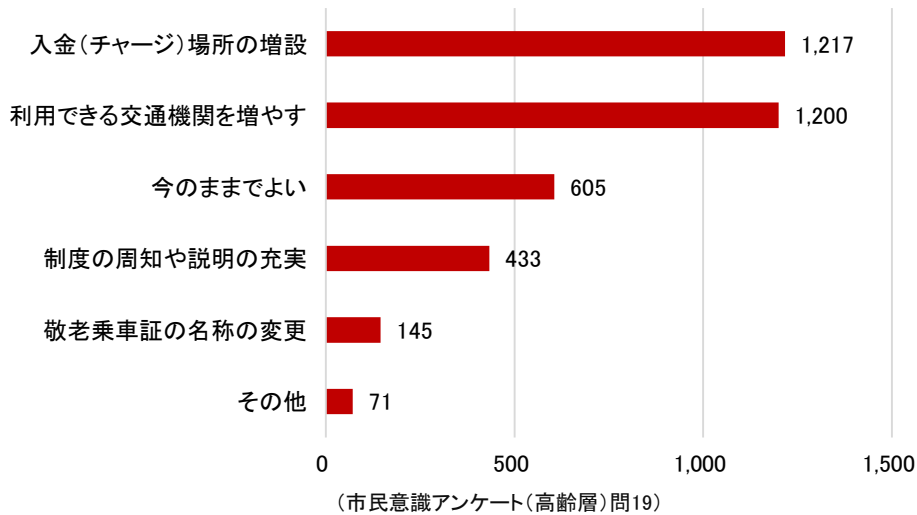
●対象年齢については、「引下げ」と回答した方が「引上げ」と回答した方を上回っている。

※1 今より重くても良い: 負担割合の増、年間上限額の引下げ、対象年齢の引上げ

※2 今より軽い方が良い: 負担割合の減、年間上限額の引上げ、対象年齢の引下げ

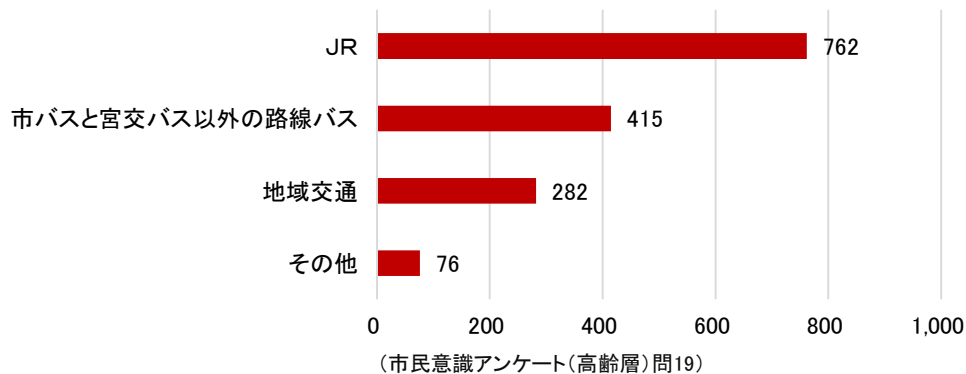
## 高齢層の結果

### (6) - 1 制度の利便性向上に必要だと思うもの ※3つまで選択可能 n=2,830



●「チャージ(入金)場所の増設」と「利用できる交通機関を増やす」と回答した方が共に約4割となっている。

### (6) - 2 「利用できる交通機関を増やす」という回答の内訳 ※複数選択可能 n=1,200



●制度を利用できる交通機関を増やす場合の対象としては、JRと路線バス(市バス・宮交バス以外)を希望する方が多い。

令和4年度

敬老乗車証市民意識アンケート（高齢層）

結果報告書

確報版

令和5年8月

健康福祉局高齢企画課



## I. アンケートの概要

### 1. 実施目的

本アンケートは、敬老乗車証制度の持続的な運用のあり方を検討するにあたり、制度の利用者の利用意識のほか、利用をしていない方や今後交付対象年齢になる方も含めて制度への意識を把握することを目的とする。

### 2. 調査設計

調査対象者：仙台市内にお住いの60歳以上の市民

調査方法：調査対象者にアンケートを郵送し、返送いただくもの

調査期間：令和4年7月3日～令和4年7月31日

調査項目：調査対象者の属性（問1～6）

日常の移動について（問7）

敬老乗車証制度の利用状況について（問8～14）

制度の対象年齢だが利用していない理由（問15）

今後数年で制度の対象年齢になる方の意識（問16～17）

制度の利用者負担等や利便性についての意識（問18～19）

高齢者福祉施策全体について（問20）

敬老乗車証制度への意見等について（自由記述）（問21）

### 3. 回収結果

発送数 4,100

回収数 2,830

回収率 69.0%

### 4. 報告書の見方

- (1) 表やグラフのnとは回答者数の合計を表すものであり、質問によって異なる場合がある。
- (2) 回答比率は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、単一選択式の質問においては、回答比率を合計しても100%にならない場合がある。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数選択式の質問においては、各設問の回答者数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100%を上回る場合がある。
- (3) 複数選択式の質問については、回答数の合計がn（回答者数の合計）を上回る場合がある。

## II. 調査項目ごとの集計結果

### 【回答者自身について】（全回答者が回答）

問1. 同居している方はいらっしゃいますか。

※複数回答可

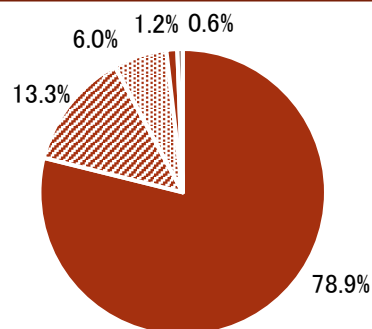
回答	回答者数	割合
配偶者	1,669	59.0%
未婚の子供	675	23.9%
既婚の子供	316	11.2%
子供の配偶者	215	7.6%
孫	267	9.4%
親	71	2.5%
その他	81	2.9%
いない(ひとり暮らし)	600	21.2%
無回答	34	1.2%

n= 2,830

問2. あなたはお仕事などはなさっていますか。

回答	回答者数	割合
していない	2,232	78.9%
勤務(会社員・パートを含む)	375	13.3%
自営(手伝いを含む)	171	6.0%
その他	35	1.2%
無回答	17	0.6%

n= 2,830

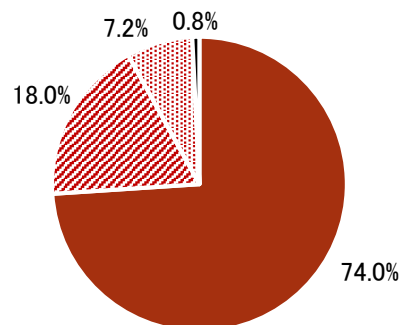


- していない
- 勤務(会社員・パートを含む)
- 自営(手伝いを含む)
- その他
- 無回答

問3. 自宅から最寄りのバス停や鉄道駅、地下鉄の駅までは、歩いて何分くらいですか。

回答	回答者数	割合
10分未満	2,093	74.0%
10分以上15分未満	510	18.0%
15分以上	205	7.2%
無回答	22	0.8%

n= 2,830



- 10分未満
- 10分以上15分未満
- 15分以上
- 無回答

**問4. あなたは自動車等を運転または同乗しますか。**

回答	回答者数	割合
自分で自由に使える自動車やバイクを持っており、運転することがある	996	35.2%
自分で自由に使える自動車は持っていないが、家族の所有する自動車やレンタカー等を利用して運転することがある	73	2.6%
自分では運転しないが、家族等が運転する自動車に同乗することがある	1,079	38.1%
家族等も車を持っておらず、自動車等には乗らない	576	20.4%
無回答	106	3.7%

n= 2,830

**問5. 自動車等の運転免許を持っている方にお伺いします。何歳まで運転する予定ですか。**

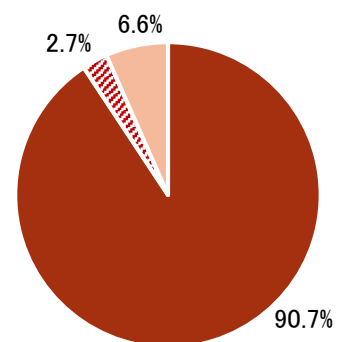
回答	回答者数	割合
70歳未満まで	4	0.3%
70～74歳まで	44	3.2%
75～79歳まで	184	13.4%
80～84歳まで	313	22.8%
85～89歳まで	174	12.7%
90歳以上まで	52	3.8%
現在運転していない、または今後運転するつもりはない	278	20.3%
わからない	322	23.5%

n= 1,371

**問6. 本アンケートが届く以前に、敬老乗車証をご存知でしたか。**

回答	回答者数	割合
知っていた	2,567	90.7%
知らなかった	76	2.7%
無回答	187	6.6%

n= 2,830



- 知っていた
- 知らなかった
- 無回答

【日常の移動について】（全回答者が回答）

問7. 日常的にどんな目的で外出しますか。外出の目的を3つまで選び、その際、どのくらいの頻度で外出しているか、どのような移動手段を使っているか、教えてください。

(1) 日常的な外出の目的（3つまで選択可能）

回答	回答者数	割合
買い物(銀行等含む)	2,224	78.6%
通院	1,816	64.2%
趣味・娯楽	1,088	38.4%
交流(知人を訪問等)	499	17.6%
地域活動・ボランティア	184	6.5%
通勤	376	13.3%
その他	146	5.2%
無回答	147	5.2%

n= 2,830

(2) 日常的な移動目的別の移動頻度

回答	回答者数								
	合計	ほぼ毎日	週に4~5日	週に2~3日	週1日程度	2週に1日程度	月1日程度	年数日	無回答
買い物	2,224	272	316	860	482	134	115	17	28
(割合)	100.0%	12.2%	14.2%	38.7%	21.7%	6.0%	5.2%	0.8%	1.3%
通院	1,816	29	42	200	312	359	755	94	25
(割合)	100.0%	1.6%	2.3%	11.0%	17.2%	19.8%	41.6%	5.2%	1.4%
趣味・娯楽	1,088	55	95	261	295	193	128	47	14
(割合)	100.0%	5.1%	8.7%	24.0%	27.1%	17.7%	11.8%	4.3%	1.3%
交流(知人を訪問等)	499	11	11	51	86	85	166	79	10
(割合)	100.0%	2.2%	2.2%	10.2%	17.2%	17.0%	33.3%	15.8%	2.0%
地域活動・ボランティア	184	7	11	40	51	34	35	4	2
(割合)	100.0%	3.8%	6.0%	21.7%	27.7%	18.5%	19.0%	2.2%	1.1%
通勤	376	146	152	58	12	4	-	3	1
(割合)	100.0%	38.8%	40.4%	15.4%	3.2%	1.1%	-	0.8%	0.3%
その他	146	9	12	25	31	6	32	27	4
(割合)	100.0%	6.2%	8.2%	17.1%	21.2%	4.1%	21.9%	18.5%	2.7%

(3) 日常的な移動目的別の移動手段（複数選択可能）

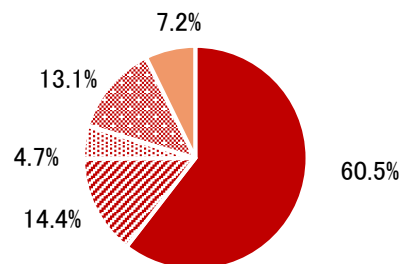
回答	回答者数								
	合計	自動車やバイク	市営バス・宮交バス・地下鉄	左記以外のバスや鉄道	タクシー	自転車	徒歩	その他	無回答
買い物	2,224	1,008	1,238	62	262	237	787	19	31
(割合)	100.0%	45.3%	55.7%	2.8%	11.8%	10.7%	35.4%	0.9%	1.4%
通院	1,816	664	1,028	61	397	121	444	17	30
(割合)	100.0%	36.6%	56.6%	3.4%	21.9%	6.7%	24.4%	0.9%	1.7%
趣味・娯楽	1,088	423	671	48	96	83	266	8	16
(割合)	100.0%	38.9%	61.7%	4.4%	8.8%	7.6%	24.4%	0.7%	1.5%
交流(知人を訪問等)	499	162	323	32	70	23	87	6	9
(割合)	100.0%	32.5%	64.7%	6.4%	14.0%	4.6%	17.4%	1.2%	1.8%
地域活動・ボランティア	184	63	112	9	10	17	68	-	2
(割合)	100.0%	34.2%	60.9%	4.9%	5.4%	9.2%	37.0%	-	1.1%
通勤	376	226	156	18	15	34	55	1	2
(割合)	100.0%	60.1%	41.5%	4.8%	4.0%	9.0%	14.6%	0.3%	0.5%
その他	146	68	63	7	27	5	25	6	2
(割合)	100.0%	46.6%	43.2%	4.8%	18.5%	3.4%	17.1%	4.1%	1.4%

【敬老乗車証制度の利用状況について】

問8. 敬老乗車証の利用・交付の有無について、あてはまる番号に○をつけてください。

回答	回答者数	割合
敬老乗車証を現在利用している	1,712	60.5%
敬老乗車証を持っているが、今は利用していない	408	14.4%
敬老乗車証の交付を受けていない(返還した方も含む)	134	4.7%
現在70歳未満であり、今後数年で交付対象になる	371	13.1%
無回答	205	7.2%

n= 2,830



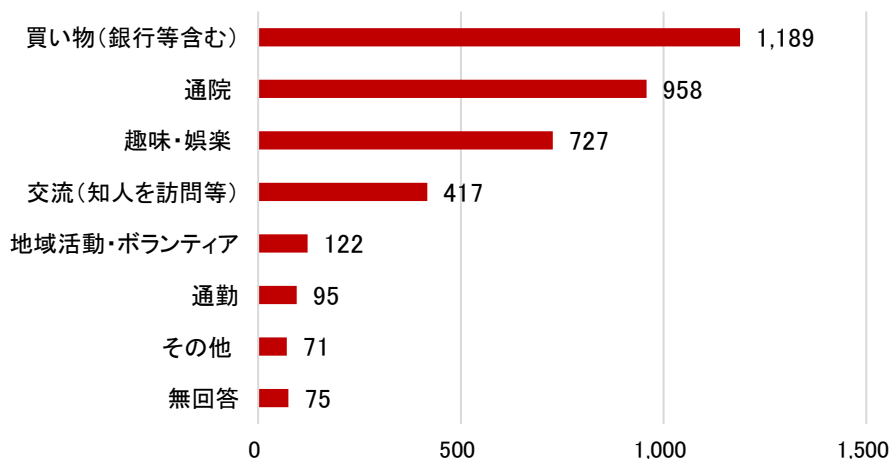
- 敬老乗車証を現在利用している
- 敬老乗車証を持っているが、今は利用していない
- 敬老乗車証の交付を受けていない(返還した方も含む)
- 現在70歳未満であり、今後数年で交付対象になる
- 無回答

問9. 敬老乗車証の主な利用目的を3つまで選び、その際、どのくらいの頻度で利用しているか、どの移動手段を使っているか、教えてください。(問8で「敬老乗車証を現在利用している」と回答した方)

(1) 利用目的 (3つまで選択可能)

回答	回答者数	割合
買い物(銀行等含む)	1,189	69.5%
通院	958	56.0%
趣味・娯楽	727	42.5%
交流(知人を訪問等)	417	24.4%
地域活動・ボランティア	122	7.1%
通勤	95	5.5%
その他	71	4.1%
無回答	75	4.4%

n= 1,712



(2) 敬老乗車証の移動目的別の移動頻度

回答	回答者数								
	合計	ほぼ毎日	週に 4～5日	週に 2～3日	週1日 程度	2週に1日 程度	月1日 程度	年数日	無回答
買い物	1,189	63	106	337	292	144	161	60	26
(割合)	100.0%	5.3%	8.9%	28.3%	24.6%	12.1%	13.5%	5.0%	2.2%
通院	958	2	24	109	159	188	370	83	23
(割合)	100.0%	0.2%	2.5%	11.4%	16.6%	19.6%	38.6%	8.7%	2.4%
趣味・娯楽	727	16	42	151	177	137	117	74	13
(割合)	100.0%	2.2%	5.8%	20.8%	24.3%	18.8%	16.1%	10.2%	1.8%
交流(知人を訪問等)	417	3	4	25	56	59	173	88	9
(割合)	100.0%	0.7%	1.0%	6.0%	13.4%	14.1%	41.5%	21.1%	2.2%
地域活動・ボランティア	122	1	4	18	31	32	28	7	1
(割合)	100.0%	0.8%	3.3%	14.8%	25.4%	26.2%	23.0%	5.7%	0.8%
通勤	95	16	40	23	9	1	2	4	-
(割合)	100.0%	16.8%	42.1%	24.2%	9.5%	1.1%	2.1%	4.2%	-
その他	71	3	3	1	8	8	23	21	4
(割合)	100.0%	4.2%	4.2%	1.4%	11.3%	11.3%	32.4%	29.6%	5.6%

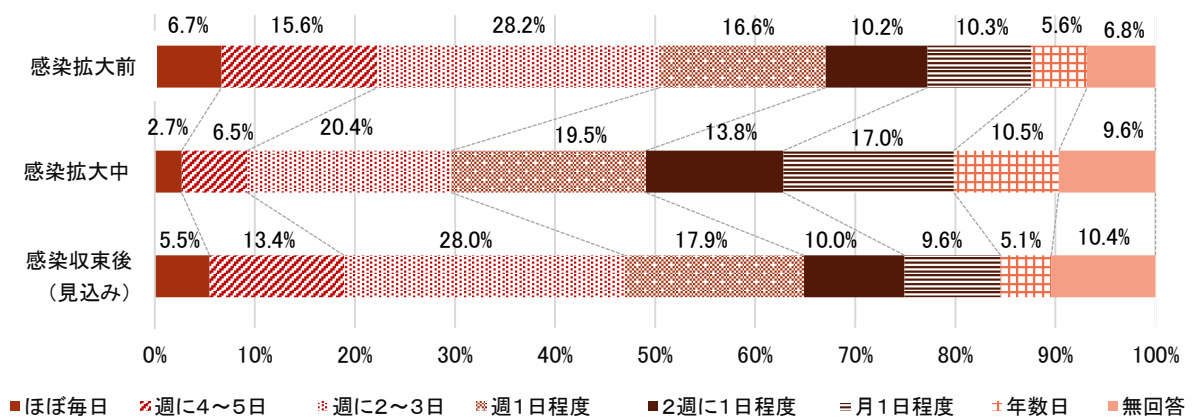
(3) 敬老乗車証の移動目的別の移動交通機関(複数選択可能)

回答	回答者数				
	合計	市営バス	宮交バス	地下鉄	無回答
買い物	1,189	786	394	725	26
(割合)	100.0%	66.1%	33.1%	61.0%	2.2%
通院	958	679	320	468	30
(割合)	100.0%	70.9%	33.4%	48.9%	3.1%
趣味・娯楽	727	448	243	481	18
(割合)	100.0%	61.6%	33.4%	66.2%	2.5%
交流(知人を訪問等)	417	275	140	277	8
(割合)	100.0%	65.9%	33.6%	66.4%	1.9%
地域活動・ボランティア	122	88	34	81	2
(割合)	100.0%	72.1%	27.9%	66.4%	1.6%
通勤	95	66	24	59	2
(割合)	100.0%	69.5%	25.3%	62.1%	2.1%
その他	71	43	22	38	3
(割合)	100.0%	60.6%	31.0%	53.5%	4.2%

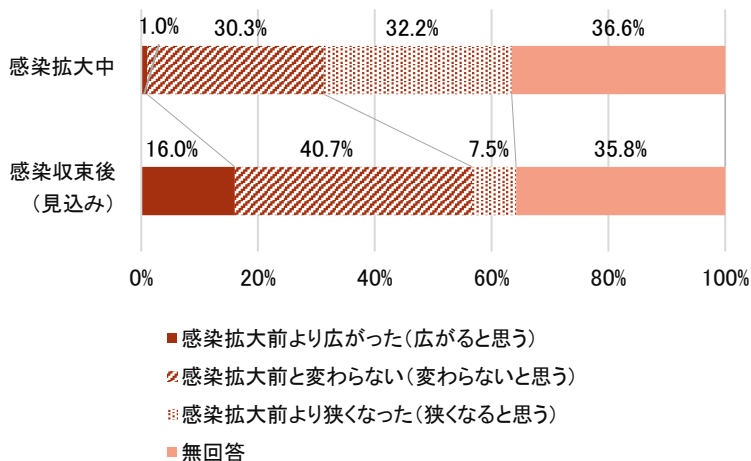
問 10. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、ご自身の敬老乗車証制度の利用についてどのような影響がありましたか。

回答		感染拡大前		感染拡大中		感染収束後(見込み)	
		回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
利用頻度	ほぼ毎日	114	6.7%	46	2.7%	94	5.5%
	週に4~5日	267	15.6%	112	6.5%	230	13.4%
	週に2~3日	483	28.2%	349	20.4%	480	28.0%
	週1日程度	284	16.6%	333	19.5%	307	17.9%
	2週に1日程度	174	10.2%	236	13.8%	172	10.0%
	月1日程度	177	10.3%	291	17.0%	164	9.6%
	年数日	96	5.6%	180	10.5%	87	5.1%
	無回答	117	6.8%	165	9.6%	178	10.4%
	合計	1,712		1,712		1,712	
年間利用額							
平均利用額(円)		36,239		28,156		36,629	
移動範囲	感染拡大前より広がった(広がると思う)			17	1.0%	274	16.0%
	感染拡大前と変わらない(変わらないと思う)			518	30.3%	696	40.7%
	感染拡大前より狭くなった(狭くなると思う)			551	32.2%	129	7.5%
	無回答			626	36.6%	613	35.8%
	合計			1,712		1,712	

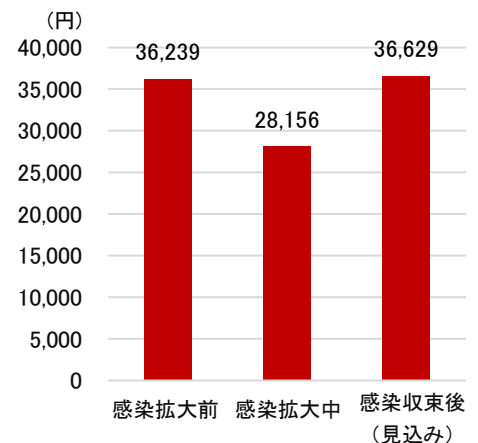
乗車証の利用頻度の変化



乗車証を使った移動範囲の変化



乗車証の年間平均利用額の変化



問 11. 敬老乗車証があることで、敬老乗車証がない場合と比べて、外出する回数はどのくらい増えていると思いますか。

回答	回答者数	割合
増えている	782	45.7%
増えていない	657	38.4%
わからない	180	10.5%
無回答	93	5.4%

n= 1,712



「増えている」という回答の回数の内訳

回答	回答者数	割合
週1回未満	17	2.2%
週1～2回未満	213	27.2%
週2～3回未満	234	29.9%
週3～4回未満	81	10.4%
週4～5回未満	21	2.7%
週5～6回未満	22	2.8%
週6～7回未満	5	0.6%
週7回以上	9	1.2%
無回答	180	23.0%

n= 782

問 12. 敬老乗車証を使って出かけた時に、1回あたりどのくらいお金を使っていますか。コロナウイルス感染症拡大前の利用状況について、1回あたりの平均的な金額（買い物、飲食、娯楽等）を記入してください。

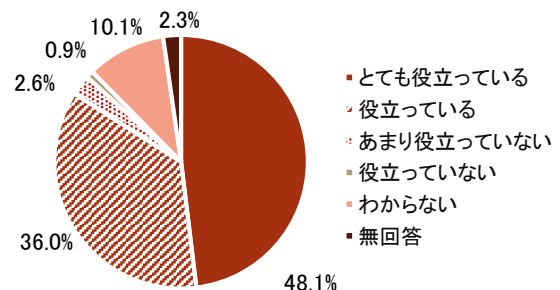
回答	回答者数	割合
1千円未満	172	10.0%
1千～2千円未満	38	2.2%
2千～3千円未満	91	5.3%
3千～4千円未満	172	10.0%
4千～5千円未満	35	2.0%
5千～6千円未満	193	11.3%
6千～7千円未満	18	1.1%
7千～8千円未満	16	0.9%
8千～9千円未満	22	1.3%
9千～1万円未満	1	0.1%
1万～1万5千円未満	154	9.0%
1万5千～2万円未満	23	1.3%
2万円以上	40	2.3%
わからない	496	29.0%
無回答	241	14.1%

n= 1,712

問 13. 敬老乗車証で公共交通機関を利用することは、敬老乗車証を利用せずに公共交通機関を利用した場合に比べ、健康に役立っていると思いますか。

回答	回答者数	割合
とても役立っている	823	48.1%
役立っている	616	36.0%
あまり役立っていない	45	2.6%
役立っていない	16	0.9%
わからない	173	10.1%
無回答	39	2.3%

n= 1,712





問 14. 仮に、年間利用上限額まで利用して敬老乗車証が使えなくなった場合、あなたはどのようにしますか。

※複数回答可

回答	回答者数	割合
通常料金で市営バス・宮交バス・地下鉄を利用する	1,053	61.5%
自動車やバイクを運転して移動する	198	11.6%
タクシーを利用して移動する	360	21.0%
家族や同居人に車で送迎してもらう	330	19.3%
自宅の最寄りの場所で用を済ませるよう、目的地を変える	574	33.5%
その他	110	6.4%
外出しない	59	3.4%
わからない	69	4.0%
無回答	39	2.3%

n= 1,712

【制度の対象年齢だが利用していない理由】（制度対象者のうち未利用者のみ回答）

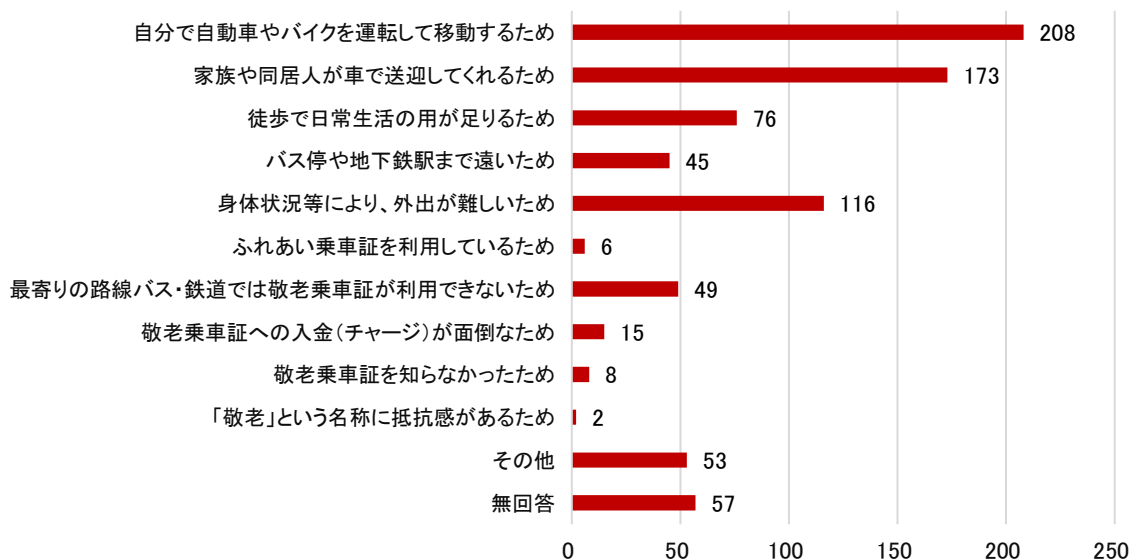
問 15. 利用していない、交付を受けていない理由は何ですか。

（問 8 で「敬老乗車証を持っているが、今は利用していない」「敬老乗車証の交付を受けていない」と回答した方が回答）

※複数回答可

回答	回答者数	割合
生活環境によるもの		
自分で自動車やバイクを運転して移動するため	208	38.4%
家族や同居人が車で送迎してくれるため	173	31.9%
徒歩で日常生活の用が足りるため	76	14.0%
バス停や地下鉄駅まで遠いため	45	8.3%
個人の身体状況によるもの		
身体状況等により、外出が難しいため	116	21.4%
ふれあい乗車証を利用しているため	6	1.1%
制度の内容や利便性によるもの		
最寄りの路線バス・鉄道では敬老乗車証が利用できないため	49	9.0%
敬老乗車証への入金(チャージ)が面倒なため	15	2.8%
敬老乗車証を知らなかったため	8	1.5%
「敬老」という名称に抵抗感があるため	2	0.4%
その他	53	9.8%
無回答	57	10.5%

n= 542



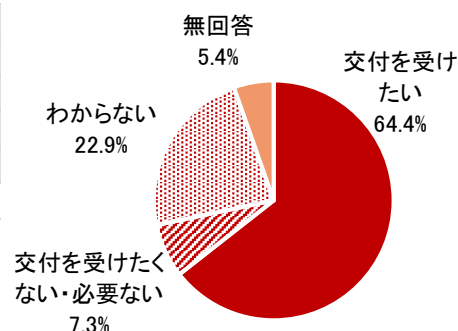
【今後数年で制度の対象年齢になる方の意識】（60歳～69歳のみ回答）

問 16. 今後、交付対象年齢になったら敬老乗車証の交付を希望しますか。

（問 8 で「現在 70 歳未満であり、今後数年で交付対象になる」と回答した方が回答）

回答	回答者数	割合
交付を受けたい	239	64.4%
交付を受けたくない・必要ない	27	7.3%
わからない	85	22.9%
無回答	20	5.4%

n= 371



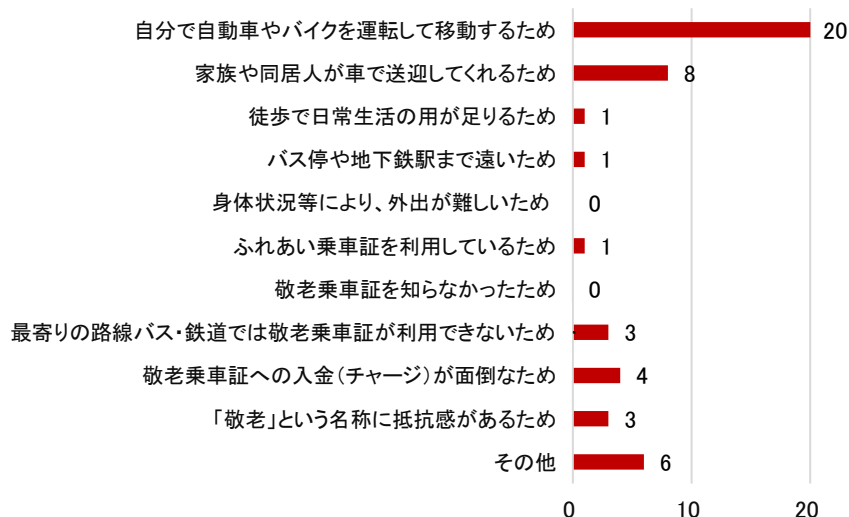
問 17. 交付を希望しない理由は何ですか。

（問 16 で「交付を受けたくない・必要ない」と回答した方が回答）

※複数回答可

回答	回答者数	割合
生活環境によるもの		
自分で自動車やバイクを運転して移動するため	20	74.1%
家族や同居人が車で送迎してくれるため	8	29.6%
徒歩で日常生活の用が足りるため	1	3.7%
バス停や地下鉄駅まで遠いため	1	3.7%
個人の身体状況によるもの		
身体状況等により、外出が難しいため	0	0%
ふれあい乗車証を利用しているため	1	3.7%
制度の内容や利便性によるもの		
敬老乗車証を知らなかったため	0	0%
最寄りの路線バス・鉄道では敬老乗車証が利用できないため	3	11.1%
敬老乗車証への入金(チャージ)が面倒なため	4	14.8%
「敬老」という名称に抵抗感があるため	3	11.1%
その他	6	22.2%

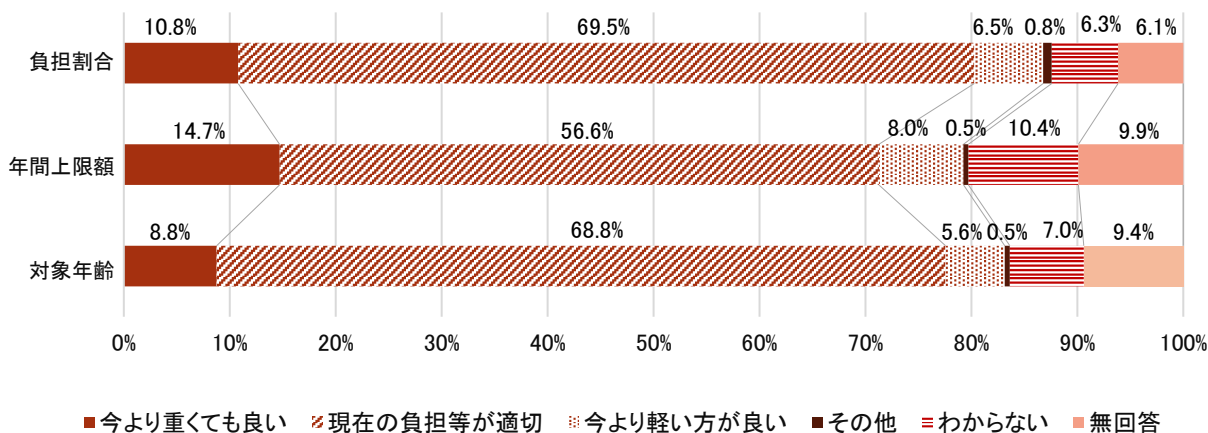
n= 27



【制度の利用者負担等や利便性についての意識】（全回答者が回答）

問 18. 敬老乗車証制度の利用者の負担割合と年間利用上限額、対象年齢について、あなたが適切だと考えるものに○をつけてください。

回答	負担割合		年間上限額		対象年齢	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
今より重くても良い 負担割合増、上限額引下げ、対象年齢引上げ	305	10.8%	416	14.7%	248	8.8%
現在の負担等が適切	1,967	69.5%	1,601	56.6%	1,947	68.8%
今より軽い方が良い 負担割合減、上限額引上げ、対象年齢引下げ	184	6.5%	226	8.0%	158	5.6%
その他	23	0.8%	13	0.5%	14	0.5%
わからない	177	6.3%	294	10.4%	197	7.0%
無回答	174	6.1%	280	9.9%	266	9.4%
合計	2,830		2,830		2,830	



問 19. 敬老乗車証制度が利用しやすくなるために、今後改善する必要があると思うことは何ですか。

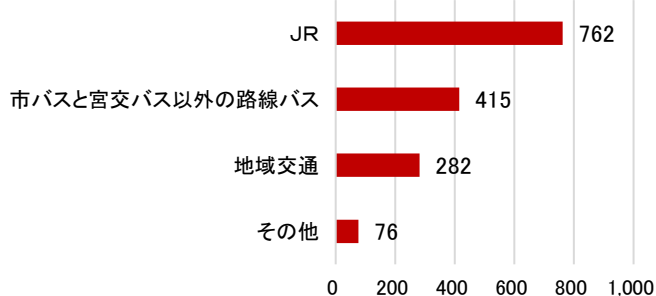
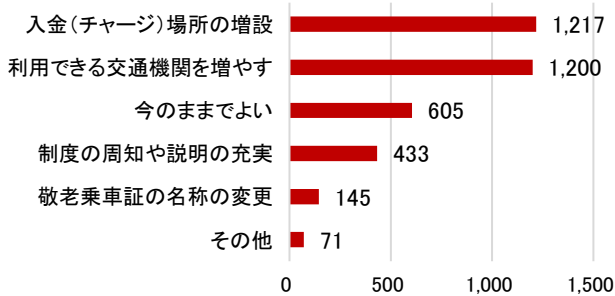
回答	回答者数	割合
入金(チャージ)場所の増設	1,217	43.0%
利用できる交通機関を増やす	1,200	42.4%
今のままでよい	605	21.4%
制度の周知や説明の充実	433	15.3%
敬老乗車証の名称の変更	145	5.1%
その他	71	2.5%

回答	回答者数	割合
JR	762	63.5%
市バスと宮交バス以外の路線バス	415	34.6%
地域交通	282	23.5%
その他	76	6.3%

※複数選択可能

n= 1,200

※3つまで選択可能



【高齢者福祉施策全体について】（全回答者が回答）

問 20. 敬老乗車証制度は高齢者の社会参加の促進を主な目的とした制度ですが、今後あなたが充実を望む福祉サービスであてはまるものに○をつけてください。

※3つまで選択可

回答	回答者数	割合
日常生活の支援サービス(配食、見守り、移動販売、介護用品の提供等)	1,145	40.5%
生きがいづくりや社会参加、交流を支援するサービス(敬老乗車証、老人福祉センターの運営等)	1,083	38.3%
介護予防・認知症対策等のサービス(介護予防教室、認知症予防等)	1,064	37.6%
自宅における訪問介護サービス(ホームヘルパーサービス、訪問介護等)	940	33.2%
施設における介護サービス(デイサービス、特別養護老人ホーム等)	604	21.3%
その他	197	7.0%

n= 2,830

問 21. 敬老乗車証制度について、ご意見・ご要望があれば、自由に記入してください。

自由記述の分類（※一人が複数分類にまたがる記述をしている場合は、それぞれの分類にカウント）

回答分類	回答者数
1. 現状のまま継続してほしい	284
2. 利便性向上を求める意見	134
3. 制度を存続するために利用者負担等を増加すべき、増加を許容する	93
4. 公共交通や地域交通の運行等についての意見	51
5. 利用者負担等を軽減し制度を存続してほしい	30
6. 免許返納に関連した意見	13
7. 若年世代への配慮や不公平感	8
8. 制度の廃止を検討すべき	6
9. 感想・その他	545

n= 1,138

1. 現状のまま継続してほしい

- ・ 何の目的であれ、外出する事は身体の健康にも心の健康にも良く、長命につながっていると思います。仙台市に住んでいて良かったと、心から感謝しています。これからも敬老乗車証制度はなくさないで、継続していただきたいと思います。よろしくお願い致します。
- ・ 現在の私は車もあるので、この制度の利用頻度は低いものの、時間を見つけて利用したいと思っている。車では行きづらい所や、駐車場を気にしないで出掛けたいとも思っている。是非現行のまま制度を継続して頂きたい。

2. 利便性向上を求める意見

- ・ チャージ場所を増やして欲しい。
- ・ タクシーにも使用出来ると良いのでは。

### 3. 制度を存続するために利用者負担等を増加すべき、増加を許容する

- ・ 負担額が1割では安過ぎると思います。せめて2～3割負担でも良いと感じます。
- ・ 自動車等を運転する者はガソリン等自腹なので…。年齢を80歳以上としてもいいのではないかと思う。その分を介護等のサービスに回した方がいいのでは？

### 4. 公共交通や地域交通の運行等についての意見

- ・ バスがもっと便利になるといい。路線を多くして、近所の買い物にも使えるといい。小型のバスでも良い。
- ・ 敬老乗車証があっても、乗れる路線バスがない。乗り継いで少しでも安くしようと思うと時間がかかってしまいます。

### 5. 利用者負担等を軽減し制度を存続してほしい

- ・ 負担無しにすべき。
- ・ 通院（自分の）のため、介護（親）のため、外出が多くなり、敬老乗車証の上限額を高くして欲しいという声を聞きます。条件付きで、できないでしょうか。

### 6. 免許返納に関連した意見

- ・ 免許証を返納した人には少し優遇しても良い様に思います。

### 7. 若年世代への配慮や不公平感

- ・ とてもありがたい制度ですが、若い人達に申し訳ないと思ってしまいます。人口比率が逆三角形で高齢者が多過ぎです。現在の1割負担を3割にさせていただいていいと思います。

### 8. 制度の廃止を検討すべき

- ・ 高齢者のみを対象とした乗車優遇サービスはやめた方が良くと思う。市の財政負担が大きくなるばかりで、若者の不満が大きくなるだけ。むしろ公共交通機関を幅広い年齢の人に利用してもらうためのサービスの方に重きを置いた方がいいと思う。

### 9. 感想・その他

- ・ 交付年齢になったら、是非利用したいと思います。制度についてよく知らなかったので、少しだけ理解出来たように思います。
- ・ 敬老乗車証で助かっています。

## 敬老乗車証市民意識アンケートクロス集計

### 1 対象調査

令和4年度敬老乗車証市民意識アンケート（高齢層）

### 2 実施したクロス集計内容

#### (1) 第一軸（横軸）

- ・問1 家族構成
- ・問2 就業状況
- ・問3 最寄りの公共交通機関までの所要時間（徒歩）
- ・問4 自動車の利用状況
- ・問5 運転免許所持者の今後の運転予定  
運転をやめる時期
- ・問6 敬老乗車証の認知度
- ・問7 日常的な外出（目的・頻度・手段）
- ・問8 利用・交付の有無（利用・交付状況別）
- ・問9 利用状況（目的・頻度・手段）
- ・問10 新型コロナウイルス感染拡大前・拡大中・収束後の影響  
（利用頻度・移動範囲・年間利用額）
- ・問11 敬老乗車証があることによる外出回数の変化
- ・問12 敬老乗車証利用時の外出1回あたりの買い物等の金額
- ・問13 敬老乗車証の健康への貢献度
- ・問14 年間利用上限額まで利用して使えなくなった場合の対応
- ・問15 利用していない、交付を受けていない理由  
利用していない、交付を受けていない場合の最寄りの交通機関
- ・問16 70歳未満の方が交付対象年齢になった際の交付希望の有無
- ・問17 70歳未満の方が交付を希望しない理由  
70歳未満の方が交付を希望しない場合の最寄りの交通機関
- ・問18 意向（負担割合・年間利用上限額・対象年齢）
- ・問19 今後改善が必要だと思うこと  
利用できるようにしてほしい交通機関
- ・問20 今後充実を望む福祉サービス

## (2) 第二軸（縦軸）

- ・問1 家族構成
- ・問2 就業状況
- ・問3 最寄りの公共交通までの所要時間（徒歩）
- ・問6 敬老乗車証の認知度
- ・問4 自動車の利用状況
- ・問8 利用・交付の有無（利用・交付状況）
- ・問10 新型コロナウイルス感染拡大中の年間利用額
- ・性別
- ・年齢段階
- ・行政区
- ・所得段階
- ・券種
- ・包括圏域

## 3 クロス集計結果

敬老乗車証のあり方検討の参考として、以下の項目について次頁以降に記載した。

### (1) 利用・交付状況

- ① 利用・交付状況（問8）／性別

### (2) 日常的な外出

- ① 日常的な移動に係る外出目的（問7）／性別
- ② 日常的な移動に係る外出目的（問7）／年齢段階別
- ③ 日常的な移動に係る外出頻度（問7）／性別
- ④ 日常的な移動に係る外出頻度（問7）／年齢段階別

### (3) 敬老乗車証の健康への貢献度

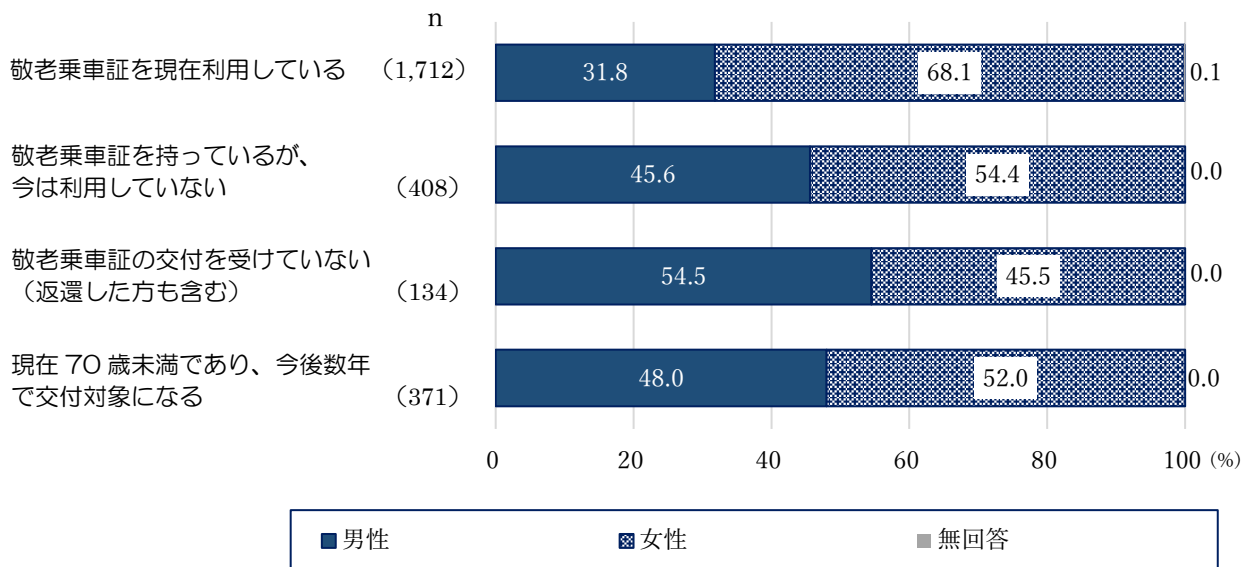
- ① 最寄りの公共交通機関までの所要時間（問3）／敬老乗車証の健康への貢献度（問13）
- ② 自動車の利用状況（問4）／敬老乗車証の健康への貢献度（問13）



(1) 利用・交付状況

① 利用・交付状況（問8）／性別

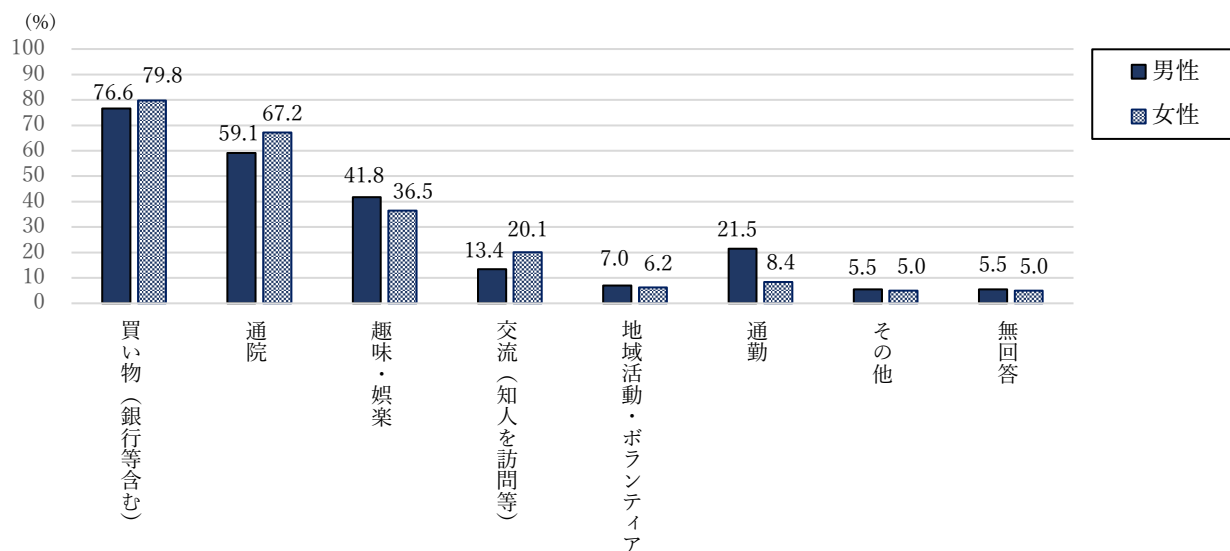
敬老乗車証の利用・交付状況について性別にみると、「現在70歳未満であり、今後数年で交付対象になる」と回答した方は、男性48.0%、女性52.0%とほぼ同じ割合となっているが、「敬老乗車証を現在利用している」と回答した方は、女性が68.1%と男性を上回っている。



(2) 日常的な外出

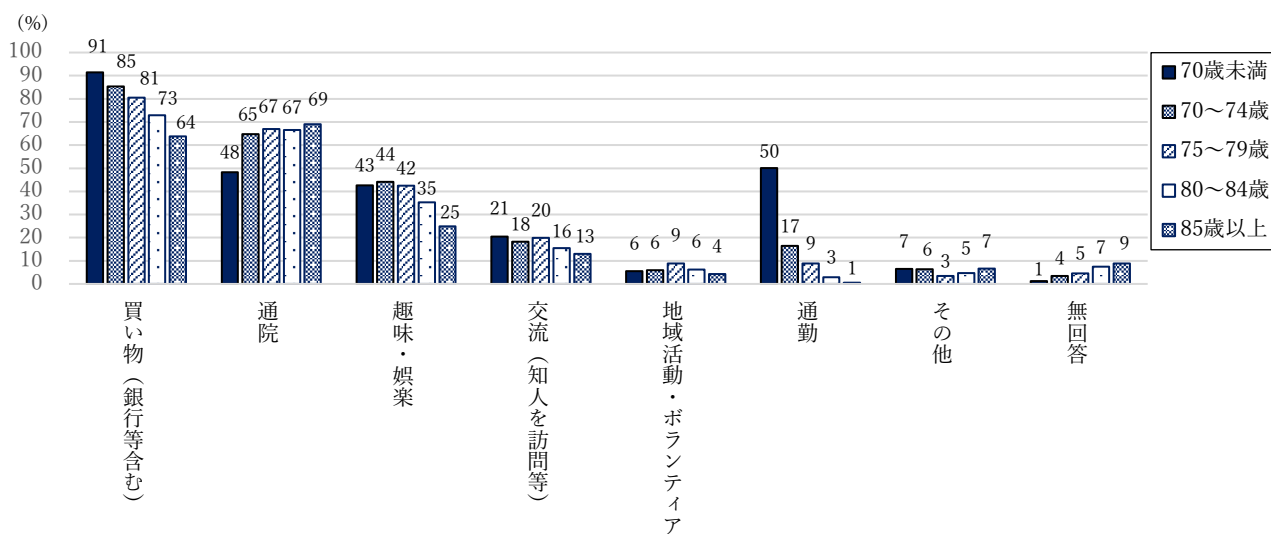
① 日常的な移動に係る外出目的（問7）／性別

日常的な移動に係る外出目的について性別にみると、「買い物（銀行等を含む）」、「通院」、「交流（知人を訪問等）」と回答した方の割合は、男性より女性のほうが高くなっている。



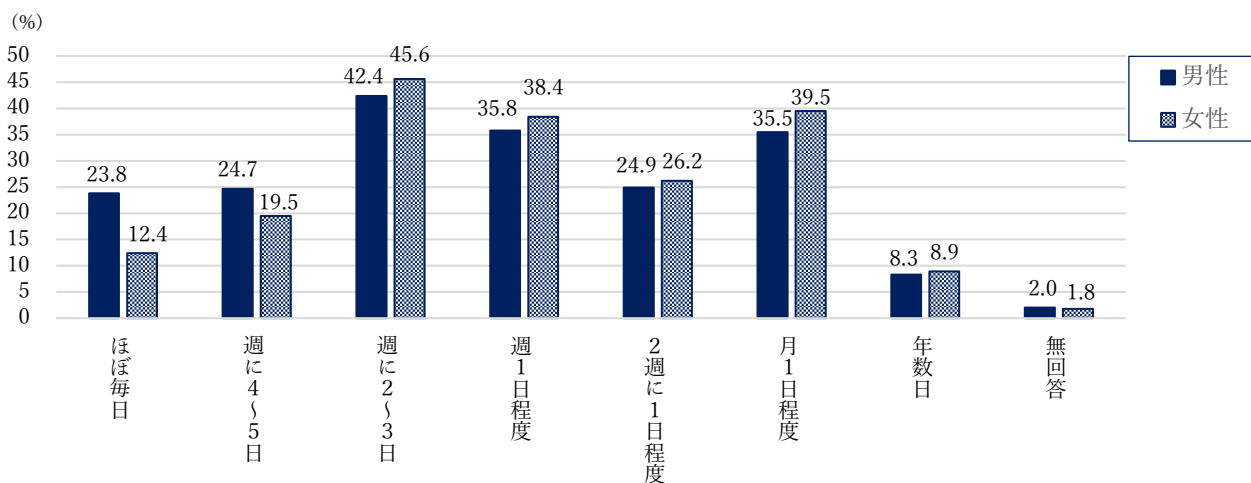
② 日常的な移動に係る外出目的（問7）／年齢段階別

日常的な移動に係る外出目的について年齢段階別にみると、「買い物（銀行等を含む）」、「趣味・娯楽」と回答した方の割合は、年齢段階が上がるにつれて概ね低くなっており、「通院」と回答した方の割合は年齢段階が上がるにつれて高くなっている。



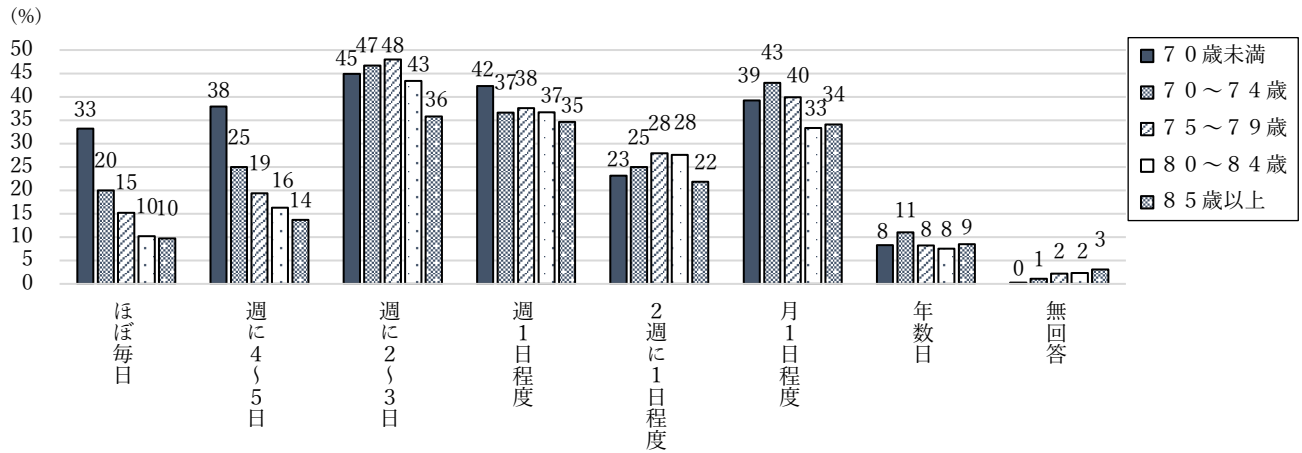
③ 日常的な移動に係る外出頻度（問7）／性別

日常的な移動に係る外出頻度について性別にみると、「ほぼ毎日」、「週に4～5日」と回答した方の割合は、女性より男性のほうが高くなっている。また、男性、女性ともに「週に2～3日」と回答した方が多い。



④ 日常的な移動に係る外出頻度（問7）／年齢段階別

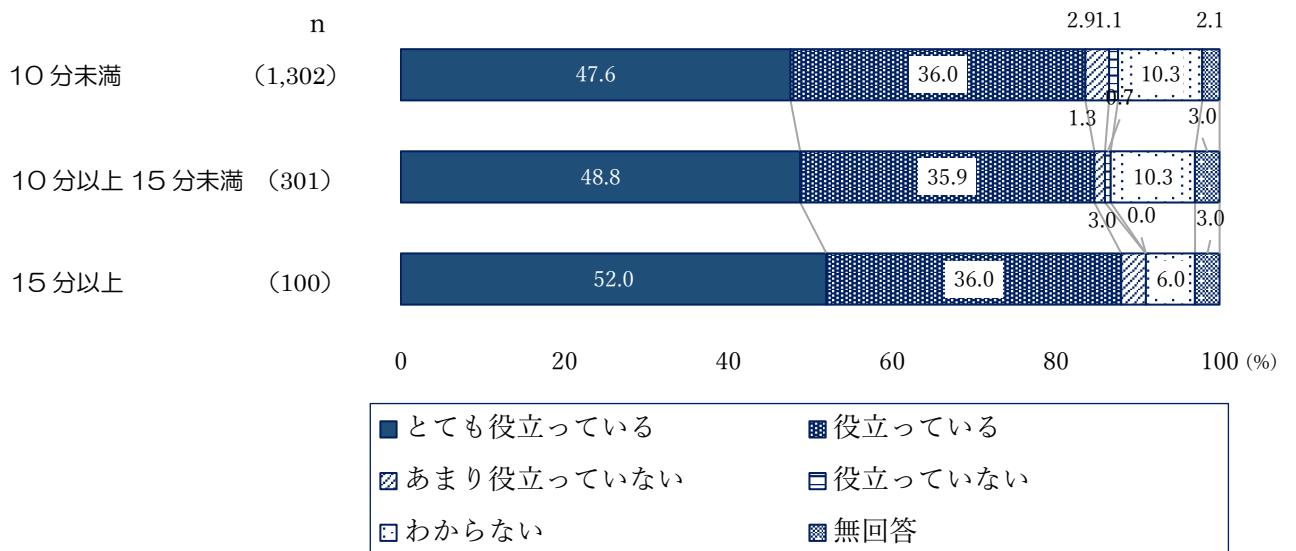
日常的な移動に係る外出頻度について年齢段階別にみると、「ほぼ毎日」、「週に4～5日」と回答した方の割合は、年齢段階が上がるにつれて低くなっており、いずれの年齢段階でも「週に2～3日」と回答した方が最も多い。



(3) 敬老乗車証の健康への貢献度

① 最寄りの公共交通機関までの所要時間（問3）／敬老乗車証の健康への貢献度（問13）

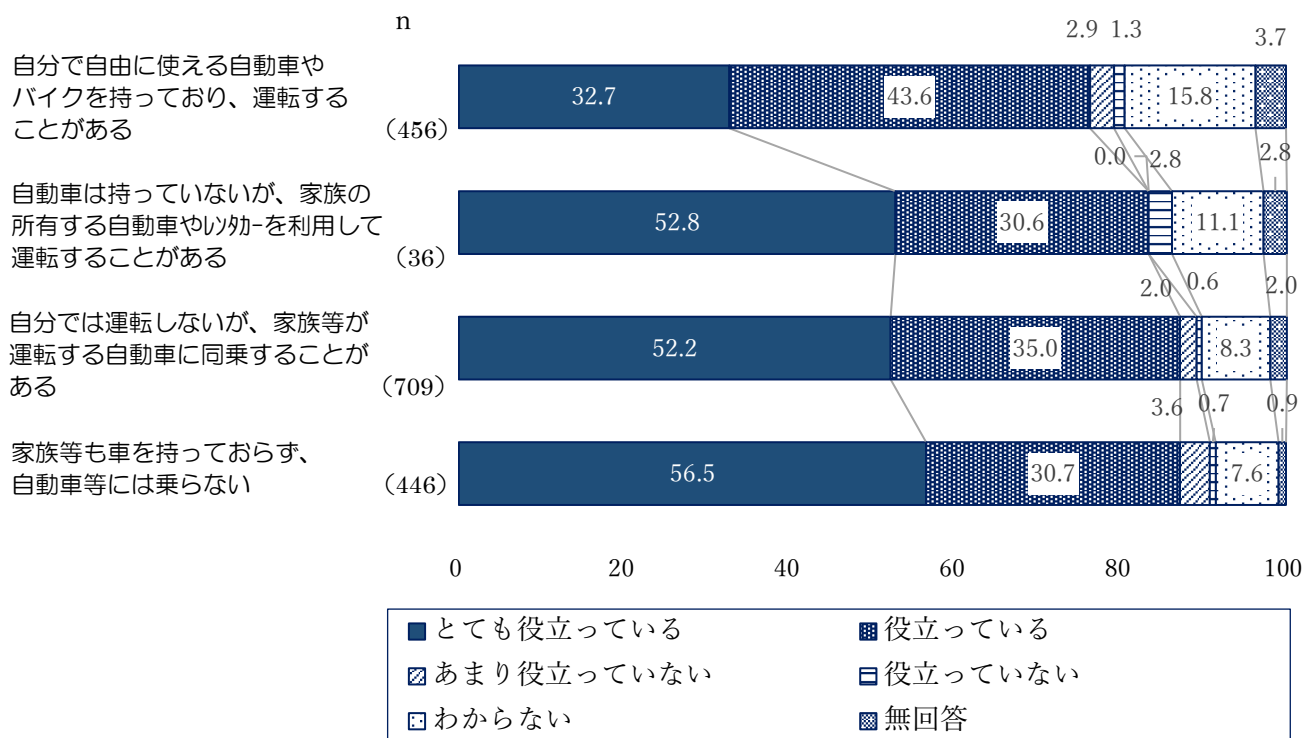
最寄りの公共交通機関までの所要時間について、敬老乗車証の健康への貢献度別に比較すると、所要時間が長いほど「とても役立っている」の割合が多くなっている。



③ 自動車の利用状況（問4）／敬老乗車証の健康への貢献度（問13）

自動車の利用状況について、敬老乗車証の健康への貢献度別に比較すると、「自分で自由に使える自動車やバイクを持っており、運転することがある」と回答した人は、敬老乗車証が「とても役立っている」との割合が32.7%と比較的少なくなっている。

「家族等も車を持っておらず、自動車等には乗らない」と回答した人は、敬老乗車証が「とても役立っている」との割合が56.5%と比較的多くなっている。



令和4年度

敬老乗車証市民意識アンケート（若年層）

結果報告書

確報版

令和5年8月

健康福祉局高齢企画課

## I. アンケートの概要

### 1. 実施目的

本アンケートは、敬老乗車証制度の持続的な運用のあり方を検討するにあたり、制度の対象年齢に満たない世代における制度への意識を把握することを目的とする。

### 2. 調査設計

調査対象者：仙台市内にお住いの20歳～59歳の市民

調査方法：調査対象者にウェブアンケートへの回答に係る依頼状を郵送し、回答いただくもの

調査期間：令和4年10月3日～令和4年10月23日

調査項目：調査対象者の属性（問1～4）

敬老乗車証制度について（問5～9）

高齢者福祉施策全体について（問10）

敬老乗車証制度への意見等について（自由記述）（問11）

### 3. 回収結果

発送数 2,500

回収数 695

回収率 27.8%

### 4. 報告書の見方

- (1) 表やグラフのnとは回答者数の合計を表すものであり、質問によって異なる場合がある。
- (2) 回答比率は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、単一選択式の質問においては、回答比率を合計しても100%にならない場合がある。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数選択式の質問においては、各設問の回答者数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100%を上回る場合がある。
- (3) 複数選択式の質問については、回答数の合計がn（回答者数の合計）を上回る場合がある。

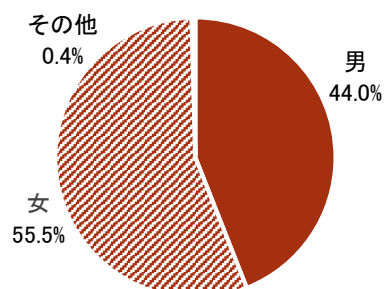
## II. 調査項目ごとの集計結果

### 【回答者自身について】

問1. あなたの性別について、該当する番号に1つだけチェックをしてください。

回答	回答者数	割合
男	306	44.0%
女	386	55.5%
その他	3	0.4%

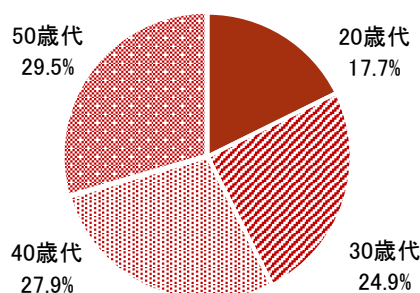
n= 695



問2. 回答日現在のあなたの年齢について、該当する番号に1つだけチェックをしてください。

回答	回答者数	割合
20歳代	123	17.7%
30歳代	173	24.9%
40歳代	194	27.9%
50歳代	205	29.5%

n= 695



問3. あなたの職業等について、該当する番号に1つだけチェックをしてください。

回答	回答者数	割合
自営業(家族従業の方を含む)	41	5.9%
会社員、団体職員等	398	57.3%
パート、アルバイト、非常勤等	120	17.3%
学生	29	4.2%
家事専業・無職	79	11.4%
その他	28	4.0%

n= 695

問4. 市政全般について、あなたが特に重要だと考える施策で、あてはまるものに3つまでチェックをしてください。

※3つまで選択可能

回答	回答者数	割合
市民生活・市民活動(市民協働・ボランティア等)	63	9.1%
防災・危機管理(防災・減災対策等)	388	55.8%
健康・福祉(生活困窮・障害者・高齢者・健康づくり・医療等)	420	60.4%
子育て・教育(子育て支援・いじめ対策・学都等)	436	62.7%
環境・杜の都・景観(資源循環推進・脱炭素社会等)	86	12.4%
産業・経済(企業誘致・雇用創出・起業支援等)	237	34.1%
文化・観光(歴史伝統・誘客推進・スポーツ振興等)	104	15.0%
都市開発・建設(道路整備・都心再整備・都市インフラ等)	231	33.2%
その他	11	1.6%

n= 695

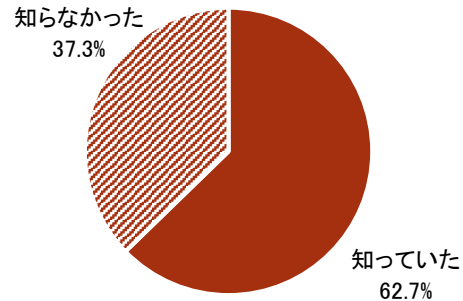
【敬老乗車証制度について】

問5. 同封の「調査へのご協力をお願い」をお読みになる前に、敬老乗車証制度についてどの程度ご存知でしたか。該当する番号すべてにチェックをしてください。

※「知っていた」の細目については複数回答可

回答	回答者数	割合
知っていた	436	62.7%
事業の名称	350	50.4%
制度の内容	219	31.5%
交付率や利用率	27	3.9%
事業費	18	2.6%
知らなかった	259	37.3%

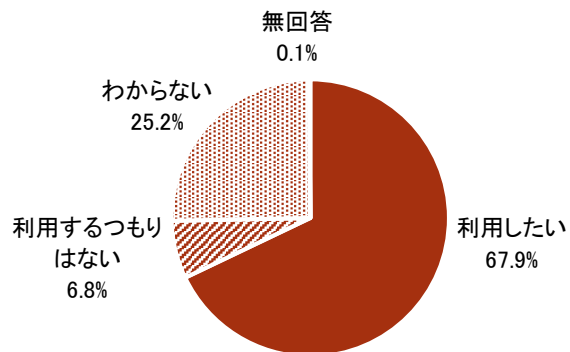
n= 695



問6. 将来、交付対象年齢（70歳）になったら敬老乗車証を利用したいと思いますか。

回答	回答者数	割合
利用したい	472	67.9%
利用するつもりはない	47	6.8%
わからない	175	25.2%
無回答	1	0.1%

n= 695



問7. 利用するつもりはない理由は何ですか。あなたの考えにあてはまる番号すべてにチェックをしてください。

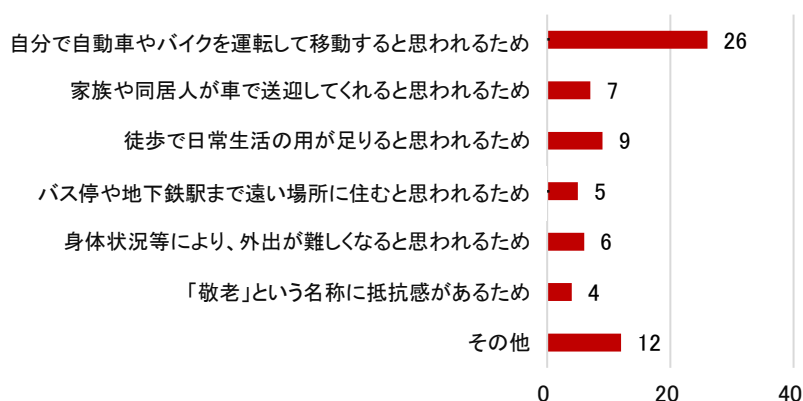
※複数選択可能

回答	回答者数	割合
生活環境によるもの		
自分で自動車やバイクを運転して移動すると思われるため	26	55.3%
家族や同居人が車で送迎してくれると思われるため	7	14.9%
徒歩で日常生活の用が足りと思われるため	9	19.1%
バス停や地下鉄駅まで遠い場所に住むと思われるため	5	10.6%
個人の身体状況によるもの		
身体状況等により、外出が難しくなると思われるため	6	12.8%
制度の内容や利便性によるもの		
「敬老」という名称に抵抗感があるため	4	8.5%
その他	12	25.5%

n= 47

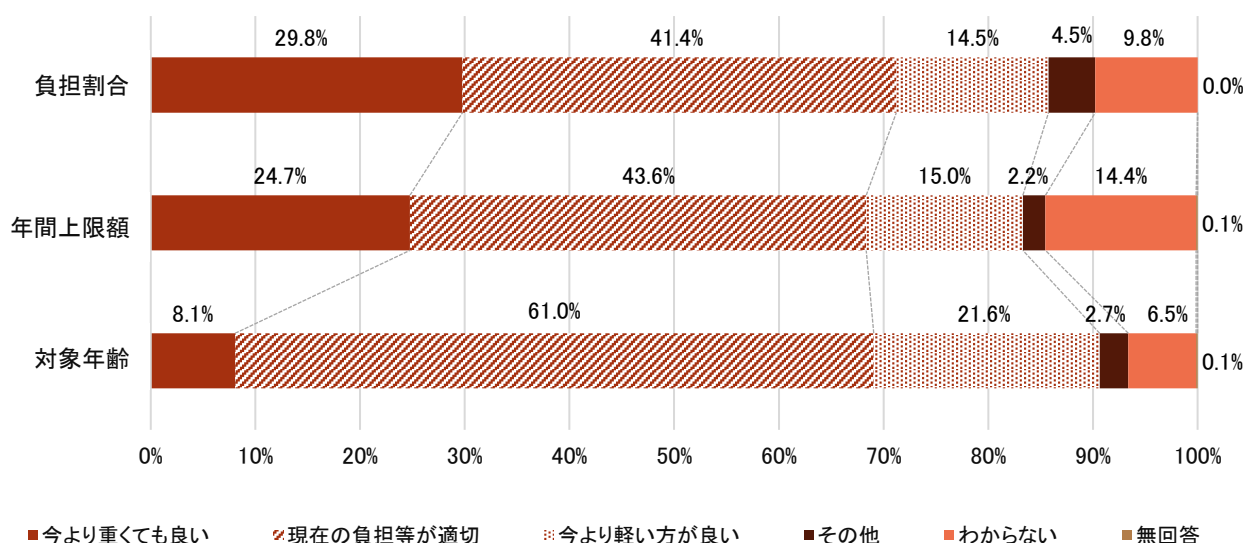


### 将来利用するつもりはない理由 n=47



問8. 敬老乗車証制度の利用者の負担割合と年間利用上限額、対象年齢について、あなたが適切だと考えるものに○をつけてください。

回答	負担割合		年間上限額		対象年齢	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
今より重くても良い 負担割合増、上限額引下げ、対象年齢引上げ	207	29.8%	172	24.7%	56	8.1%
現在の負担等が適切	288	41.4%	303	43.6%	424	61.0%
今より軽い方が良い 負担割合減、上限額引上げ、対象年齢引下げ	101	14.5%	104	15.0%	150	21.6%
その他	31	4.5%	15	2.2%	19	2.7%
わからない	68	9.8%	100	14.4%	45	6.5%
無回答	-	-	1	0.1%	1	0.1%
合計	695		695		695	



問9. 敬老乗車証制度を利用することで、どのような効果があると思うか、あなたの考えにあてはまるものいずれかにチェックをしてください。

(1) 高齢者の社会参加を促す効果

回答	回答者数	割合
高いと思う	337	48.5%
低いと思う	144	20.7%
わからない	213	30.6%
無回答	1	0.1%

n= 695

(2) 高齢者の外出を促す効果

回答	回答者数	割合
高いと思う	540	77.7%
低いと思う	85	12.2%
わからない	70	10.1%
無回答	-	-

n= 695

(3) 高齢者の消費を促す効果

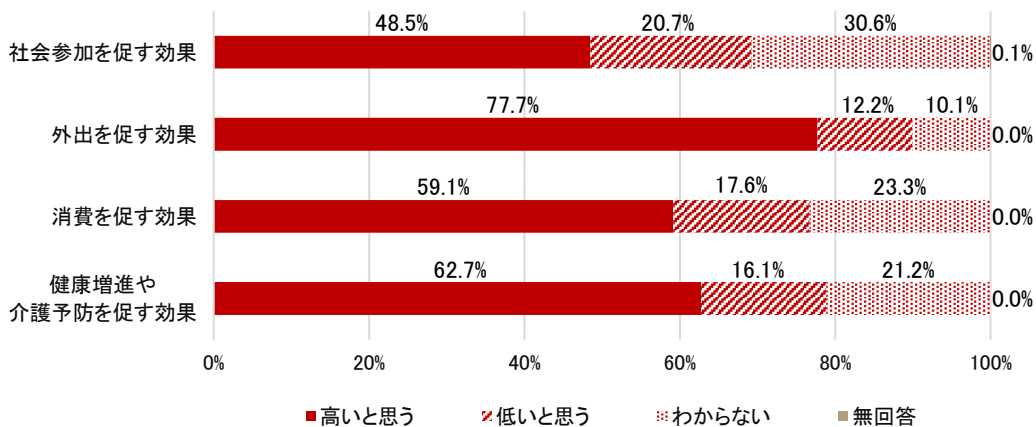
回答	回答者数	割合
高いと思う	411	59.1%
低いと思う	122	17.6%
わからない	162	23.3%
無回答	-	-

n= 695

(4) 高齢者の健康増進や介護予防を促す効果

回答	回答者数	割合
高いと思う	436	62.7%
低いと思う	112	16.1%
わからない	147	21.2%
無回答	-	-

n= 695



【高齢者福祉施策全体について】

問 10. あなたが、現在の高齢者福祉施策の中で特に重要だと思うもので、あてはまるものに3つまでチェックをしてください。

※3つまで選択可能

回答	回答者数	割合
介護予防・認知症対策等(介護予防教室、認知症予防等)	397	57.1%
日常生活の在宅支援(配食、見守り、移動販売、介護用品の提供等)	354	50.9%
自宅における訪問介護(ホームヘルパー、訪問介護等)	293	42.2%
施設における介護(デイサービス、特別養護老人ホーム等)	251	36.1%
就労の機会の提供(シルバー人材センター、生涯現役促進等)	244	35.1%
生きがいづくりや交流の場の提供(老人福祉センター、老人憩の家等)	225	32.4%
社会参加の促進(敬老乗車証、老人クラブへの支援等)	147	21.2%
その他	16	2.3%

n= 695

問 11. 敬老乗車証制度について、ご意見・ご要望があれば、自由に記入してください。

自由記述の分類(※一人が複数分類にまたがる記述をしている場合は、それぞれの分類にカウント)

回答分類	回答者数
1. 制度を存続するために利用者負担等を増加すべき、増加を許容する	64
2. 利便性向上を求める意見	36
3. 免許返納に関連した意見	31
4. 若年世代への配慮や不公平感	28
5. 現状のまま継続してほしい	15
6. 公共交通や地域交通の運行等についての意見	10
7. 利用者負担等を軽減し制度を存続してほしい	7
8. 制度の廃止を検討すべき	6
9. 感想・その他	91

n= 254

1. 制度を存続するために利用者負担等を増加すべき、増加を許容する

- ・ 高齢者は移動手段が限られてくると思われ、制度は継続したほうが良いと思います。ただ現行の負担割合では財政的に厳しくなる一方なので、思い切って引き上げるべきではないでしょうか。負担割合が高ければ、「近場は徒歩で」を意識して、健康増進にもつながると思います。
- ・ 仙台駅に行きたくても地下鉄の運賃が高いため躊躇してしまうことがあるのに、高齢者は1割負担というのは格差が大きすぎると思う。その負担を少しでも多くして全体的に運賃を下げることはできないのかと思う。例えば、要介護ではない一般的な70歳以上は5割、80歳以上は3割、90歳以上と要介護の高齢者は1割と年齢によって負担額を変えるべきだと思う。70代で働いている人も大勢いる時代に1割負担は時代錯誤だと考える。いずれはこの制度を使いたいと考えてはいるが、高齢化社会の現状を考えて、負担額と適用年齢を見直しても良いのではないかと。

2. 利便性向上を求める意見

- ・ チャージができる場所が限られていて利用しづらい。

- ・ JRの利用を選択できるようにして欲しい。

### 3. 免許返納に関連した意見

- ・ 高齢者の自動車運転が課題になっており、免許の返納を乗車証の交付条件にしてもいいと思います。
- ・ 自動車運転免許を返納した場合は、その方の負担を半額以下にするなどもっと利用したいと思う制度にしていきたい。

### 4. 若年世代への配慮や不公平感

- ・ 高齢者支援は必要だと思うが財政の負担が今後大きくなることを考えると、負担割合や上限金額に見直しが必要だと思う。もう少し子育て世代への支援を充実させて欲しい。少子化対策や子育て世帯への支援が拡充しないまま高齢者支援だけが充実していくようでは、今後子供を産み育てたいと思えない。
- ・ 持続的に継続するならば対象者の負担も増やすべき。高齢化社会において、若年層の負担が増すばかりでは制度として疑問が残る。

### 5. 現状のまま継続してほしい

- ・ コロナ禍で財政難が心配です。無理のない範囲で利用者にも負担して頂き、制度を続ける事が望ましいと思います。
- ・ 車も自動化していく中ですが、高齢者の操作が誰もができるかというところでもないかもしれないので、やはり、移動は公共機関に頼るようになると思います。高齢者がこれから増えていく中で、現状維持くらいが持続できる範囲ではとも感じました。

### 6. 公共交通や地域交通の運行等についての意見

- ・ 高齢者による運転事故防止と免許返納促進のため、バス・地下鉄のある都市部だけでなく、デマンド交通やタクシー、シェアライド等への拡充をぜひ進めて下さい。

### 7. 利用者負担等を軽減し制度を存続してほしい

- ・ 対象年齢を下げ、意欲とお金があるうちに活用していただいた方が目的の効果が出るのではと考えます。

### 8. 制度の廃止を検討すべき

- ・ 敬老乗車証制度について、持続的に運用していくことを前提に検討しているように見えるが、他の自治体のように廃止することも含め、費用対効果を勘案し、検討いただきたい。

### 9. 感想・その他

- ・ この制度は高齢者の行動範囲が広がる大事な制度。健康な老後を過ごすには、自分で気軽に外出できることは必須だと思う。
- ・ 老人の交通事故(運転ミス等で)のニュースを見るたびこのような制度は必要であると本当に思います。仙台市の様に交通網がある地域では利用価値もありますし…。